

蕨野地内の廃タイヤ処理状況について

市民生活部環境課

1 処理状況

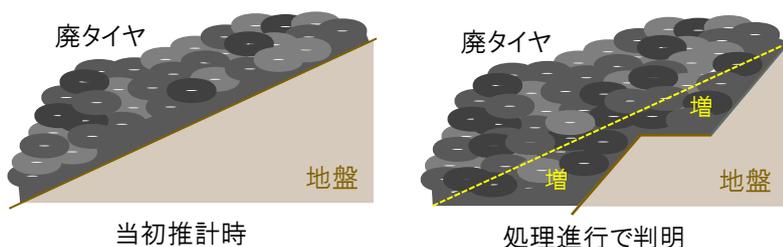


- 当初の総量推計約 274 t = 約 40,000 本に対し、8 月末現在で約 222 t = 約 31,700 本を処理
令和 5 (2023) 年度処理 約 7 t (約 1,000 本)
令和 6 (2024) 年度 8 月末まで 約 215 t (約 30,700 本) ※タイヤ本数はいずれも重量から換算
- ただし、処理が進んだことで廃タイヤ総量をもっと多い見込みであることが判明

2 廃タイヤの総量推計増の要因

① 廃タイヤの体積が多い

廃タイヤ山内部は段状に掘削されており、当初推計に対して総体積を多く見込む必要あり



② 廃タイヤの密度が高い

内部のタイヤ変形が想定以上のため、密度を高く見込む必要あり



3 今後の処理方針

- 新たに推計した廃タイヤ総量は約 525 t = 約 75,000 本と大幅増が見込まれる
- 収集運搬委託、破碎処理委託とも、当初予算に対して請差が見込まれる状況
当初予算 (不法投棄対策費・委託料) 112,958 千円
執行済概算額 (8 月末状況を反映) 約 39,500 千円 執行率 : 35.0%
- 搬出の難易度増、天候不順やさらなる不測の事態に対応しつつ、降雪期前までの廃タイヤ搬出及び処理を既決予算でできる限り進める